

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA



大矢真那による取材 障がい者を応援!

特定非営利活動法人あかり×大矢真那

社会福祉法人愛光園×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

白衣のシッター×布施博

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size／はじまり」

福祉事業所探訪

三栴屋總本店

月刊メルディア
VOL.29
TAKE FREE

MELDIA 2020 MAY VOL.29

月刊MELDIA VOL.29 2020年3月25日発行(毎月1回25日発行) 第29号 通巻29号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA
GROUP

同じ家は、つくらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

メルディアグループ
公式インスタグラムアカウント
完成事例公開中!「#メルディアグループ」で検索
@meldia_group



城田優さん出演
TVCM放送中!



特定非営利活動法人あかり／埼玉県久喜市

障がい者支援事業所を

運営し続け地域を支える

特定非営利活動法人あかりの

弛まぬ努力と挑戦

障がいのある子どもたちや、障がいのある人たちに向けた様々な福祉事業を展開しているのが「特定非営利活動法人あかり」です。

埼玉県内に28ヶ所もの事業所を構え、多くの福祉事業を運営しているといえます。

その中のひとつ、障がいのある子どもの発達を支援するための事業所「児童発達支援センターこころ園」に伺いました。

同法人の代表理事の川岸恵子さんと統括責任者の古堺義通さんのお二人に、障がいのある子どもたちや、障がいのある人たちに対する支援の内容をお聞きしました。



特定非営利活動法人あかり
埼玉県久喜市吉羽1-32-24 2F
TEL / 0480-24-2060
<https://akari2006.or.jp/>



児童発達支援センターこころ園
埼玉県南埼玉郡宮代町国納807-1
TEL / 0480-38-9322

相手を信じる事を大切に
人と関わる時間も大切に

大矢 「あかり」さんには沢山の事業所があるようですが、どのような事業を展開しているのか教えてください。

川岸 ここ（こころ園）のような児童発達支援以外に放課後デイサービスや就労支援、相談支援などですね。障がいのある人向けのサッカーチームなどもありますよ。

大矢 どうして以下のように多くの事業所を立ち上げることになったんですか？

川岸 はじめは事業所を増やそうとして始めたわけではないんです。事業理念や利用者さんに合わせての活動をしていくうちに、利用者さんの数も増え、事業所が増えることになりました。

大矢 「事業理念」を教えてください。

古堺 障がいのある人たちは「できる人」「わかる人」ということです。彼らは元より年齢相応に物事を「できる」「わかる」はずだと考え、それを信じて支援しているんです。

大矢 具体的にはどのような支援をしているのでしょうか？

古堺 コミュニケーションの支援です。

川岸 実際に彼らが元々「できる」「人間だと分かる人は少ない」と思いませんか？



大矢 コミュニケーションの支援について教えてください。

古堺 話せないとしても、筆談や文字が書かれた表を指で差すことならできるかもしれない。そうやって一つ一つ可能性を探っていくんです。

大矢 なるほど。

古堺 色々な方法を試していくうちに、何か必ず自分に合ったものが見つかるんですね。多くの人がそうやってコミュニケーションを少しずつで



特定非営利活動法人あかり 統括責任者
古堺 義通さん
こごかい よしみつ

特定非営利活動法人あかり 代表理事
川岸 恵子さん
かわぎし けいこ



大矢 真那
おおや まさな



大矢 そうかもしれません。

川岸 その原因のひとつとして、障がいのある人たちにはコミュニケーションを取れる環境が十分に与えられていないことではないかと分析したんです。

大矢 そうなんです。

川岸 例えば、知的障がいのある人など、話すことが苦手だという利用者は少なくありません。話せなければ他人とコミュニケーションを取るのは困難になりますよね。

大矢 確かにそうですね。

川岸 それはつまり、自分の意志を周囲に伝えられないということですね。そんな状態では自分も周囲の人も互いに心を開くことができません。

大矢 難しいと思います。

も取れるようになりました。

川岸 周囲とのコミュニケーションが取れるようになる行動の幅も広がるんです。

大矢 そうですね。

川岸 それと、もうひとつ彼らから奪われてしまっているかもしれないことがあります。それは「経験」をすることです。

大矢 それはなぜですか？

川岸 障がいのある人たちは「わかる・できる人だ」とする理念についてはお話ししましたが、そのためには経験が不可欠だと考えます。

古堺 障がいのある人たちは、誰もが経験するような様々なことを経験できずにきてしまった人たちが多くいます。

大矢 会話の機会すら少ないのだとしたら、その通りですね。

川岸 それは、周りが「諦めてしまっている」か、理解しようとしていないからだと思います。

古堺 障がいを理由に最初から「分からないんだ」「できないんだ」と決めつけて挑戦させないからというのが原因のひとつだと。

大矢 確かにそうかもしれません。

古堺 誰でも当たり前に経験できるはずだったことを、「障がいがある」というだけで機会を奪われてしまう。機会がないから「できる」はずのことが出来ないままになってしまいます。

川岸 障がいのあるなしに関わらず、年齢相応のスキルを持って生きること。相手に対しても

川岸 意志の疎通ができないと、障がいのある人たちは周囲との関わりがどんどんと少なくなっていくてしまいます。

大矢 心を開いて相手を受け入れることがさらに難しくなってしまうですね。

川岸 そうです。そんな状況だと、自ら相手に意志を伝えることなどできなくなると思います。

周囲に対してのアピールなどもしないようになってしまつこともあり得ると思います。

大矢 その通りです。

川岸 それでは障がいのある人たちの成長が見込めなくなってしまうと思います。いろんな経験をする機会も大幅に減ってしまいます。それをどうにかしたいと思い、コミュニケーションの支援を重要視しているんです。

年齢相応の態度を取らなければいけない。それが「尊厳を守る」ことになるはずなんです。

大矢 その通りだと思います。

川岸 だから、コミュニケーションもそうですが、うちの利用者さんたちには可能な限り多くの経験をさせてあげたい。その実践のためには工夫を凝らし試行錯誤を繰り返します。

大矢 どんな工夫をしていますか？

川岸 例えば、肢体が不自由な人に効果的だと言われているマッサージがありますが、それを怖がって受けてくれない人がいました。でも、諦めずに試行錯誤をして、今ではどうにかマッサージを受けてくれるようになりました。

大矢 どうやったんですか？

川岸 ある時、施術によって自分の身体が見えなくなるのが怖いのかも？ と思い、鏡を前に置いたら、マッサージを受けてくれたんです。

大矢 よく思いつきましたね！ すごく！



木材の曲線を活かして丸いドーム型に仕上げられた多目的用途の「スマイルドーム」。元気に走り回る子どもたちの姿を見ることができました。

一般財団法人メルディア

MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立2周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2020年3月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対するの支援を行っています。



01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにでも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧のうえ、ご応募ください。



ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
設立者 小池信三
設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F
電話 03-5381-3213
URL <https://meldia.org/>
MAIL org@gf-meldia.com



MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



障がい者を応援

特定非営利活動法人あかり



支援を難しく考えなくていい理解することが支援の第一歩

大矢 多くの工夫が障がいのある人たちの「経験」を増やすことに繋がっているんですね。
古堺 もちろん本人が努力することが大切ですが、周りが理解を示すことの方が重要なのではないかと思うことがあります。
大矢 周りの理解とは?
川岸 それぞれの障がいのある人たちの特性を



周囲が理解して協力をする必要だと。協力をすることで、「できる」という経験を増やしてあげることができると思います。
古堺 障がいのある人たちに對して「支援の仕方が分からない」という人がいますが、「まずは障がいのことを理解することから始めましょう」と答えることが多くあります。
大矢 なるほど。「理解すること」が支援の第一歩になるんですね。最後になりましたが、この先の展望を聞かせてください。
古堺 一般でいうところの大学に相当するような事業所を運営しています。今は2年制なんですけど、それを4年制にしたいと思っています。
川岸 障がいによって成長の速度に差が出るものが少なくないのに、勉強することができる年限が健常者と同じというのはいかがでしょうか。そこで、自身の成長に合わせてゆっくりと学んでいって欲しいと思います。



取材後記

川岸さんには障がいのある子どもがいたそうです。その子と一緒に過ごした掛け替えのない時間がきっかけとなって福祉事業を運営するに至ったのだといえます。
私にはまだ子どもがいないので、母親としての気持ちを完全に理解することはできません。でも、自身の子どもが持つであろう可能性を最大限に開花させてあげたいと思うのが親なのかもしれないと思います。
障がいのある子どもの親という経験があるからこそ、親の視点での支援ができていないのではないかと感じました。

取材/大矢真那



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

子育ての大きな味方となるか
看護師の資格を持つシッター

布施 ベビーシッターって聞くと、僕のマネージャーがよく利用しているんで何となくは知っているんだけど、「看護師の資格を持っているベビーシッター」っていうのは、いったいどういうサービスなの？

横山 お子さんたちの体調が万全なら保育園や幼稚園に預けることができますよね？ でも、例えば急に熱が出てしまったとか、お子さんたちの体調が悪い時なんかだと預かってもらえないということもあります。

布施 子どもを預かってもらえないと、仕事にも行けないっていう事態になるよね。

横山 そうですね。そこで、看護師資格を持った私たちシッターの出番になります。

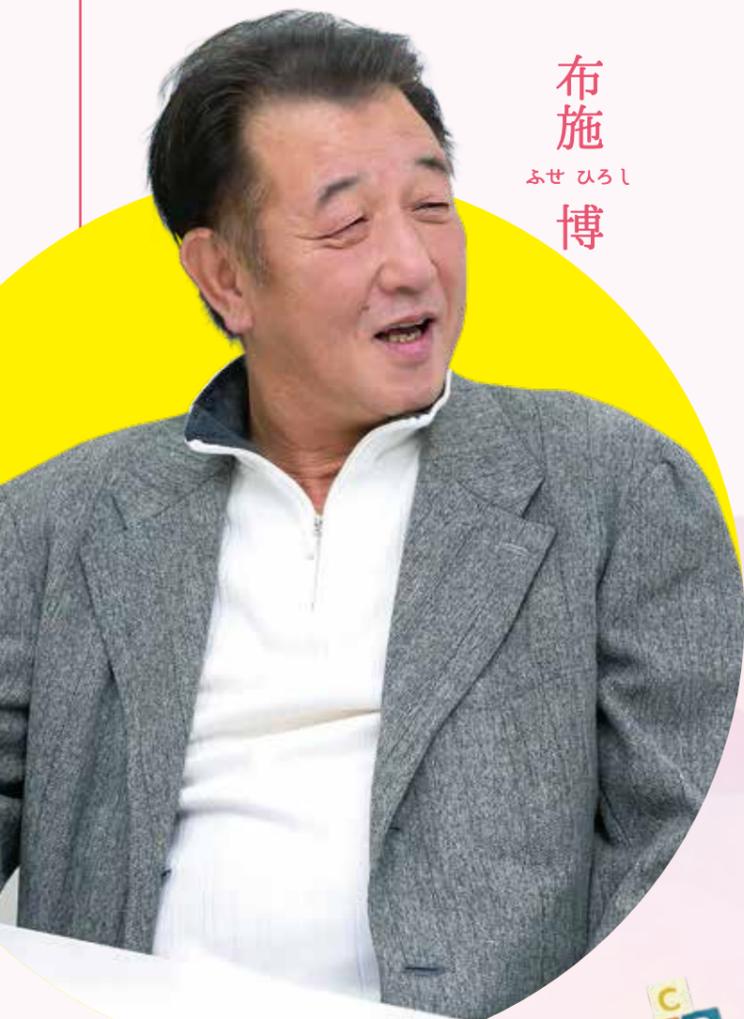
布施 それで会社の名前が「白衣のシッター」というんだね。

横山 お子さんたちの体調に合わせて看護と保育ができるので、保護者が安心して預けられるということになります。

布施 なるほどね。それにしても、どうしてこの事業をやろうと思ったの？

横山 ここ数年、知人たちから「医療ケアが必要な子どもは他人に預けづらい」という悩みを聞くことが多かったんです。それと、私は看護師の資格を持っているんですが、一般的に考えると看護

布施博
ふせひろし



師が活躍できる場所って病院などの医療関係だけに限られますよね。他にも資格が活かせるところがあっても良いんじゃないかと思うこともありました。

布施 それで、看護師が子どもを預かるっていうサービスを思いついたわけだ。障がいのある子どもたちも預かるうと思っただ理由は？

横山 重度の障がいがあるお子さんたちに向けた福祉サービスはいっぱいあるのに、障がいが軽度なお子さんに向けたサービスは少ないんです。その日だけ、数時間だけ、夜間だけの対応もできるようなシステムにしています。

布施 ありそうで無かったサービスなわけだ。

横山 そうなりますね。



保育に看護師の資格と経験を活かすというアイデアには脱帽した。これからも働く親たちの救世主となって欲しい。(布施博)



HAKUI
no
SITTER

白衣のシッター

布施博が訊く
東京都新宿区
白衣のシッター
×
布施博



看護師資格を持つベビーシッターが
子どもたちを見る
障がいのある子どもへの対応も
可能な新福祉サービス

少子化の問題が叫ばれて久しい。

「子どもを育てながら働く環境が整っていない」というのが一因になっているとする説もある。

保育園や幼稚園に子どもを預けて働く人たちが多い。

しかし、決められた日または時間内ではか子どもを預かってもらえないこともあり、

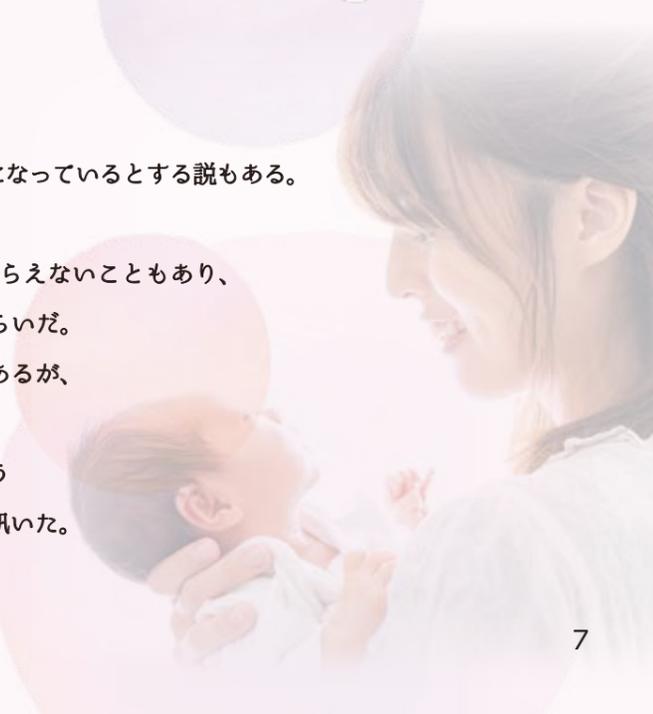
それが女性の社会進出の妨げになっているとの観測もあるくらいだ。

海外では古くから「ベビーシッター」を利用するという習慣があるが、

日本ではまだそれほど普及していない。

登録しているシッターの全員が看護師資格を持っているという

「白衣のシッター」の代表・横山さんに、このサービスの概要を訊いた。



**看護師の視点で保育サービス
専門知識と経験が活かせる仕事**

布施 登録しているシッターさんたちの全員が看護師の資格を持っているということで、このサービスを利用する人たちに対するメリットはなんだと思いますか？

横山 看護師って、患者さんたちと接する時間が長いですよ？

布施 入院病棟なんかだとそうだよ。

横山 仕事柄、患者さんたちの容態の変化にとっても敏感なんです。だから、いつもと少しでも違うところがあると、すぐにそれに気付きます。いざ急変があったとしても専門知識や培った経験で総合的に、早く、対応ができるという点がメリットになるはずだと思います。

布施 具体的にはどんなケースを想定しているんですか？

横山 例えばですが、喘息(ぜんそく)の疾患を持っているお子さんがいるとします。その子が発作を起こした時には、聴診器を使って薬の投与前と投与後に呼吸音の変化をチェックしながら、薬が正しく作用しているかどうか？ の確認もできます。

布施 そういふのだと、医者か看護師か、どちらかでないといけないもんね。

横山 他にも、熱があるお子さんがいるとして、安直に解熱薬を投与するのではなく、熱の出方や



株式会社 白衣のシッター
代表取締役/看護師

横山 かの
よこま 佳野

体調などを考慮したうえで、薬の飲ませ方なんかを保護者にアドバイスするというのなんかも考えられます。

布施 薬を飲ませているのかどうか、安静に行っているだけでいいのか、時には医療機関に連れて行くべきなのか、そういうアドバイスもできるということになるのか。

横山 そうですね。そういう場面も想定としてはあると思います。

布施 障がいのある子どもを預かることも視野に入れてサービスを展開している理由は？

横山 そこに関しては少しニュアンスが違ってもいいかもしれません。私たち看護師にとっては、お子さ

**看護と育児の経験を活かした
社会に貢献できるシッターに**

布施 今後の展望などあれば。

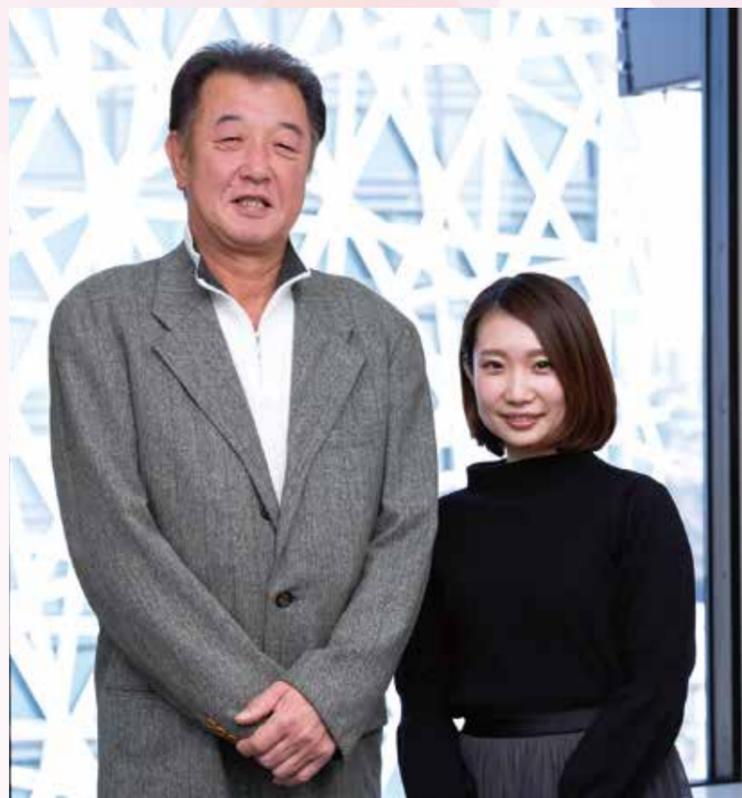
横山 看護師資格を持つシッターの需要は増えて来ているので、登録して活躍するシッターの数を増やしていきたいですね。

布施 結婚して退職しちゃう看護師さんも多いと聞きますが？

横山 結婚や出産などで退職する看護師が多くて、資格を持っているのに現在は働いていない「潜在看護師」がすごく多いので、自身の子育てや家事の手が空いた時に、その資格を活かして活躍する人が増えて欲しいと思います。

布施 「看護師が足りない」という話はよく聞かれますが、資格を持っていてもいろんな理由から働いていない人も多いわけだ。

横山 看護師の資格を持っていて、しかも子育て



の経験があるんだけど、とても貴重な人材だと思うんです。そういう人たちが社会にもう一度出て活躍する足掛かりになりたいですね。

布施 一生懸命に勉強して取得した資格なんだから、それを活かさないのはもったいない。

横山 潜在看護師が再び働けるような環境を整え、障がい児やその家族のサポートができれば良いと思います。

布施 これからの活躍を期待しています。

取材後記

世界的な流行が懸念される新型コロナウイルスの影響で、保育園や幼稚園などが相次いで休園となり「子どもをどこに預ければいいのか？」と悩む保護者の話を取り沙汰されている。こうした時だけに限らず、子どもを預けなければ仕事に行けないという家庭も多いことだろう。ましてや、障がいのある子どもがいる家庭のことを思えば、その悩みは計り知れない。病児はもちろん、障がいのある子どもを看護師資格を持った人たちが見てくれるということであれば、安心して仕事にも行ける。素晴らしいアイデアだと思う。

取材/布施博



株式会社 白衣のシッター
東京都新宿区新宿4-3-15
レイフラット 新宿B棟3F
TEL / 03-5324-2269
<https://hakui-no-sitter.com/>



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



**開所したばかりの頃の苦労と
周囲と地域の理解を得るまで**

大矢 取材の前に工場の中を見学させていただきました。障がいのある人たちがクリーニング作業のいろんな工程に従事しているんですね。

川俣恵一(以下、理事長) はい。リネンサプライ(※)といって、ホテルや病院で使用するシーツやタオルなどのクリーニングを請け負っています。

大矢 どうしてクリーニング業と福祉事業とを結び付けようと思ったんですか？

理事長 クリーニング業というのは、私の実家の家業でした。昭和40年代後半に事業を拡大していくにつれ人手が足りない。そこで、障がいのある人たちに作業をお願いできないか、と考

えたんです。

大矢 それはいつ頃からですか？

理事長 運営は昭和51年頃からです。

大矢 40年以上も前だと、まだ障がいのある人たちに向けた法整備が十分ではないし、理解が浸透している時代ではなかったため、苦労されたこともあったのではないですか？

理事長 そうですね。現在のようには障がいへの理解が進んではいなかった頃ですから、事業所を設立するとなつたときは反対もありました。

大矢 これまでの取材の中でも、反対を受けたというお話しは何度か耳にしました。これも例に漏れずということだったんですか？

理事長 はい。「福祉」と言えば皆が賛成するのに「近くに事業所を建てる」となると反対する人もいます。それが現実なんですよ。

大矢 反対に対しては、どう対応をして解決したんですか？

理事長 地域の人たちに「私が自ら泊まり込んで管理することで責任を全うする(責任を負う)から」と説得して回りました。結果、1年半くらいずっと泊まり込むことになりましたね。

大矢 その努力があつてこそ、今の愛光園があるんですね。

川俣聡司(以下、理事) 障がいのある人たちを多く雇用してきたという実績が評価されているように、現在では地域の人たちの理解も深まっていると感じます。

※リネンサプライ/シーツやタオルなどの繊維製品(リネン)を供給・補充(サプライ)する事業のこと。



栃木県足利市
社会福祉法人 愛光園 × 大矢真那

大規模な工場内で黙々と真摯に作業をする人たち 長い歴史と生産性の高さが育んだのは地域の理解

これまでに各地の福祉事業所を訪ねて多くの取材をしてきました。障がいのある人や、その支援をする人たちを取材するたびに考えることがあります。それは、「障がいのある人たちが活躍できるフィールドとはどこなのか」と、「障がいのある人たちに向けて私たちができる支援や配慮とは何だろうか」という2つです。障がいのある人たちが第一線で活躍しているクリーニング工場があると聞いて栃木県足利市にある福祉事業所に向かいました。ここで私の疑問を氷解させてくれる「何か」が見付かると信じて取材に向いました。

大矢真那による取材





社会福祉法人 愛光園
 栃木県足利市稲岡町500
 TEL / 0284-91-3781
<http://aikouen.org/>



クリーニング以外の事業運営も増やした事業は1つの理念から

大矢 クリーニング以外にも運営している事業はありますか？

理事長 相談支援事業、介護事業なども運営していますね。

理事 7事業所、23事業を運営しています。

大矢 それぞれお聞きしたいのですが、まずは「相談事業」とは何ですか？

理事長 目まぐるしく変わっていく福祉業界において、行政だけでは対応しきれない部分も増えました。そこで事業所に福祉の相談に関する専門家を置くようになったんです。

利用者との信頼関係を構築は相互に気持ちを通わせること

大矢 福祉事業所を運営していて何か思うところはありますか？

理事長 障がいのある人たちの中には、もっとスキルアップをしたい、もっと仕事をしたいと考える人が大勢います。そういう希望に応えてあげるのが福祉事業所の使命の一つなのではないかと思えます。

理事 私たちは福祉事業所として障がいのある人たちに「支援」していますが、同時に彼らに「支えられている」のだと考えています。

大矢 対等な関係である？

大矢 真那
おおやまさな



大矢 福祉に関して何でも相談できる場所ということですか？

理事長 そうです。福祉の「案内所」と言い換えても良いかもしれません。

大矢 そういった窓口もあるんですね。「介護事業」ですが、これを始めた理由は？

理事長 福祉事業を長くやっているものから、利用者さんたちの中には加齢や疾病など様々な原因で作業ができなくなるという人も必然的に増えていきますよね。

大矢 その人たちに向けた支援ですか？

理事長 はい。または、障がいのある人たちの保護者が亡くなった場合などは、その人の生活支援が必要になってきます。

大矢 確かにそうですね。

理事 利用者さんたちには、生涯を通して何らかのステージを用意してあげたいと考えて、介護事業を始めました。

大矢 大切なケアだと思います。

理事 介護に関しては、重度の障がいのある人と軽度の人とは支援の方法が変わってきます。ですから、段階を4つに分けて支援しています。

大矢 なるほど。確かにそうですね。

理事 そう思います。大袈裟ではなく「利用者さん無くしては立ち行かない」と断言できますから、何事も利用者さん本位で考えなければなりませんと思います。

大矢 そうなんですね。

理事 だからこそ、それに応えるためには最大限の配慮をしてあげたいと素直に思います。

大矢 工場の中で利用者さんたちの姿を見ましたが、真剣に丁寧な仕事をしているという印象でした。進んで挨拶をしてくれた人もいて、社会人として好感が持てる人が多いと感じました。

理事長 まずはそうやって、障がいのある人たちのことを「知る」ということが必要で、それがとても大切なことなんだと思いますね。

理事 障がいの種別や等級によって支援の方法や段階を変えることで、必要としている支援がきちんと受けられるような配慮をしています。

大矢 作業についてお聞きします。障がいのある人たちが作業することで特に注意していることや気を付けていることはありますか？

理事長 叱るでもなく、甘やかすでもない「正しい意味での指導」を心掛けていますね。

大矢 具体的にはどのような指導ですか？

理事 障がいの特性によってできないことはそれぞれあると思います。でも、努力すればできるような作業も必ずあります。それを見極めてあげるのも私たちの仕事ですから。

大矢 職員も根気が必要ですね

理事 指導の方法や伝え方を私たちが研究して工夫することによって、利用者さんが持つ成長の可能性を見つけてあげることになるはずだと考えます。



障がいを理解するためには「あれこれ難しく考えずに、まずは障がいのある人たちと関わってみて欲しい」と語る理事長。

取材後記

今後の運営方針について聞いてみました。

「障がいのある人たちが生活に困らず、仲間を作って、人生のことを自身で考えることができるような支援をしていきたい(理事長)」

「将来的には利用者さんたちが納税者となり、自身も社会の一員なのだという誇りと喜びを感じてもらいたい(理事)」

工場内も見学してきました。いろんな工程で黙々と作業に打ち込む障がいのある人たちの姿を目にしました。それは、クリーニング業界を支えているという自負と自信に満ちた「プロ」の姿であると私の目には映りました。

取材／大矢真那



はじまり

水越けいこ連載

29



シンガーソングライター
水越けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

一葉の献立表から感じる慈愛 食と食事から培われる諸感覚

ダウン症の息子・麗良(れいら)は、ある事業所の工房に通所しています。ここではお昼ご飯の提供があります。

食事には献立表も用意されていて、ある日の献立を例に挙げると、「鮭のごま風味焼き」「ほうれん草と湯葉の煮浸し」「さつま芋のサラダ」など、見るだけで材料や調理の方法までが分かるよう詳細に記載されています。

各栄養素の配分に関してもしっかりとバランス良く摂取できるように考えられているようです。この献立表から、この事業所がいかに「食」を大切にしているのかが良く分かります。

この献立表によって、息子がお昼に何を食べたのかが一目瞭然です。そのお陰で、夕食に同じメ

ニューが被ることがないように用意ができるので、母としてはとても助かっています。

月末になると、翌月の献立表が渡され、それを息子が持ち帰ってきます。親子で見ながら会話をすることが毎月の楽しみの一つにもなっています。

料理の名前を見るだけで、材料や調理の方法まで分かるようにと工夫が凝らされている献立表ですが、「お楽しみメニュー」としか書かれていない日が多くあります。

一切のヒントがなく、何が提供されるかは当日になるまで分からないという、まさに「お楽しみ」な仕掛けです。

「お楽しみメニュー」が供される前日になると決まって交わされる会話があります。「麗くん、明日はお楽しみメニューの日だよ。明日は何が出るかな？ カレーかな？」と私が言つと、「僕はシュー

新譜のレコーディングが開始 母としてアーティストとして

ご存知の方が多いと思いますが、私は自身で曲を作って歌い、それを皆さんに披露するシンガーソングライターです。

シンガーソングライターとしては新譜を発表するのも仕事のうちのひとつですが、いくつかの事情があって、新譜に収録する曲のレコーディングが中断していました。

しかし、最近ようやく状況が整ってきたので、新しいチームを結成してレコーディングを再開することにしました。リリースの時期は未定ですが、皆さんに新譜をお届けできる日も遠くないと思います。

その新譜のレコーディングに纏わるお話を少ししたいと思います。

私は当初、これまでに録り溜めたデータ(音源)素材をレコーディングに使用したいと思っていました。その曲を作った頃なりの気持ちや、その時々時代の背景なども含め、全部に思い入れがあります。だから、できれば以前のデータを使いたいと思っていました。

しかし、新しいチームの人たちとミーティングを重ねるうちに、「以前のデータを使うのはクリエイティブな観点からすると新鮮味に欠けるのではないだろうか？」という意見が出されました。

みんなの意見を聞くうちに「よし！ せっかくだから全てをゼロから創って録り直そう！」と考えるようになり、現在はレコーディングに向けて準備をしている毎日です。

録り直しが決まると、歌詞の見直しをしたい、ボーカルの録り直しがしたい、アレンジも変えたなどアーティストとしての欲が沸々と湧き出てきました。

レコーディングの再開はアーティストとしては嬉しい限りですが、同時に障がいのある子を持つ母でもあります。母としては考えなければならぬこともあります。

スタジオでのレコーディング期間中は、どうしても時間が不規則になってしまいます。その期間中、息子の食事やケアなどをどうするかなど、いろいろ調整が必要になってきます。

マイがいいななどと親子の会話が弾むことになりません。

こうして、たった一枚の献立表から家庭内の会話やコミュニケーションが生まれることに繋がります。これは私たち親子だけに特有なものではなく、きっと他の家庭でも同じような会話が交わされているのだろうと想像できます。

これを考案した事業所のアイデアとセンスには脱帽です。これは事業所が利用者に対して掛ける慈愛の証しに違いありません。

食事とは単に栄養を摂るだけのものではありません。食について語ることで、食事の時に交わされる会話までを含めて、味覚や食感だけではなく、あらゆる「感覚」を培うことにも繋がっているのではないのでしょうか。これは障がいのある人だけではなく、誰にでも重要なことなのだろうと思います。

私が不在の間は、ホームヘルパーさんなどに息子の面倒をお願いすることになるのですが、依頼できる時間や日数に限りがあります。

ホームヘルパーさんをお願いできない時は友人たちの力を借りることになるわけですが、今回に限らず、いつも友人たちが快く麗良を引き受けてくれるのでとても有難いです。周囲の人たちの協力に感謝します。

心おきなく新譜のレコーディングに望めることで、きっと良い作品に仕上がることだろうと思います。いや、必ず良い作品にして、ずっと応援してくれているファンの人たち、私と麗良のことを見守ってくれている人々への感謝の気持ちに代えたいと思います。



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中!





**伝統の継承と福祉事業を融合
事業継承で就労の機会を拡大**

編集 「伝福連携」という言葉を掲げて福祉事業所を運営しているようですが、これはどんな取り組みなのか教えてください。

藤田 ここでは麦落雁(むぎらくがん)という伝統的な和菓子を製造しているんですが、その製菓技術を障がいのある人たちに伝承してもらい、時代に繋げていこうという取り組みです。

編集 三柵屋總本店といえば、地元の人なら誰でも知っているほど歴史が古くて有名な和菓子屋さんだと聞いています。

藤田 1570年の創業ですから、今年で450年ということになりますね。創業の頃はまだ麦落雁は作ってなかったそうですが、

編集 そんな老舗がなぜ和菓子製造という伝統技術と福祉とを結びつけようと考えたことになったのですか？

川俣 事業所を建てるための用地を探していた頃に、ある所から「三柵屋總本店が事業継承者を探している」という情報を得たんです。新たに事業所を建てるのではなく、何百年も続く伝統を障がいのある人たちが担い手となることで継承できないだろうかと考えたんです。

編集 後継者がいないことで

伝
福
連
携

三柵屋總本店 群馬県館林市

伝統と福祉を結び付ける新しい試み「伝福連携」
和菓子職人の技術を障がいのある人たちが伝承



社会福祉法人 愛光園
理事 / 稲岡事業所長
川俣 聡司さん
かわまた さとし

社会福祉法人 愛光園
理事 / 六郷事業所長
藤田 勝美さん
ふじた かつみ



三柵屋總本店 / 三柵屋大越(店舗)
群馬県館林市本町1-3-12
TEL / 0276-72-3333
<http://www.mimasuyahonten.com/>



廃業に追い込まれる企業や、継承者を得られずに伝統や技術が失われてしまつ事例が多いですよ。

藤田 私たちの法人には「居住・介護・就労・相談」という4つの大きな事業の柱があります。利用者さんたちの就労機会をさらに増やすために「今の事業の他にもっと何かできることはないだろうか？」と常に探していました。

川俣 「伝福(技術)の継承と障がい福祉事業という二つを両立させた「伝福連携」をしていきたいと考えた結果、事業継承を受けることを決断しました。

編集 そういう経緯があったんですね。最初から利用者(障がいのある人たち)の就労を想定して事業継承を決めたということですか？

川俣 新たに事業所を建てるより既存の設備と技術を活かして就労場所を作ろうと考えました。

近年の社会構造と人口構造の変化に伴い、働き手の減少にあえぐ産業は少なくありません。

また、後継者不足により廃業や業態転換を迫られる企業も多いと聞きます。かつては戦後日本の屋台骨を支えた第一次産業でも人手不足と後継者不足が深刻になっているといいます。

人手不足の解消と、障がいのある人たちの社会参画推進という2極の課題を解決するため「農福連携」の取り組みが盛んに行われています。

農福連携については本誌でも何度か取り上げてきましたが、これの取材を進めるうちに耳にしたのが「伝福連携」という言葉でした。

伝統と福祉を結び付けるという「伝福連携」を実践している福祉事業所を取材しました。

(取材 / 編集部)





作業の工程を分解する工夫が 品質と時間効率の向上に寄与

編集 現在、何名の利用者(障がいのある人たち)が就労していますか？

藤田 定員は20名で、現在は10名の利用者さんが就労しています。(※取材時/2月末)

編集 主な作業内容を教えてください。

藤田 工場内でお菓子製造と、同じ館林市内にある店舗で販売をやっております。

編集 工場のことからお聞きします。障がいのある人たちが作業するうえで注意していることや心掛けていることなどはありますか？

藤田 工場の中にはミキサー、オープン、コンベアなどがあるので、それらの機械の安全対策を強化しました。危険が伴う可能性がある工程について



共生社会実現のための第一歩 被支援者から支援する側へ

編集 昨今、後継者不足に起因した事業継承の事例は多いですが、一般企業の事業を福祉事業所が継承するのは前例がない気がします。

川俣 長く伝承されてきたものには必ず「伝承されるべき理由」があったからこそだと思えます。時代の流れだと言って「伝統」を途絶えさせてしまうのは必然ではありません。

編集 全国の福祉事業所

では、その地域に特有の伝統産業だった、染め物、織り、紙漉きなどを伝承していることという動きがありますね。

川俣 伝統は一度でも断絶させてしまうと復活させ



川俣 「共生社会」という言葉が声高に叫ばれていますが、地域にある伝統を障がいのある人たちが

伝統の継承という部分に活かすことができるようになる支援を続けていきたいですね。

るのは難しいのではないかと思います。障がいのある人たちの社会参画という観点と、地域活性化の意味を込めて、彼らがその役目を担うことになって欲しいという気持ちがあります。

藤田 各地に残る伝統の中には「良い物だからこそ残った」という側面があったはずですが、それを未来に遺すことを障がいのある人たちが担うということがあっても良いと思います。障がいのある人たちの中には特性として「同じことを続ける力」に長けた人がいます。その特性を



は必ず職員が一緒に付いて作業をしています。お菓子は口に直接入る食品ですから衛生面には特に気を付けるように指導をしています。

編集 お菓子の製造にはいろんな工程がありますが、全部の作業を覚えてもらうのは大変なのではないですか？

藤田 これまでは職人が一人でやっていた作業の工程をひとつひとつ丁寧に見直して、利用者さんの誰でもができるように作業を「分解する」という工夫をしました。

編集 分解することで関わる人の数が多くなるので作業効率に影響すると思いますが？

藤田 最初はそう思っていました。でも、実際に稼働してみると、作業ごとの瞬発力が上がるというか、これまでに一人の職人がやっていたのより時間効率は格段に良くなりました。お菓子は製造してすぐが一番美味しいので、その美味しさを一早くお客さまに届けられるようになったと思います。

編集 それは良い傾向ですね。作業を分解して得られた利点は他に何かありますか？

藤田 少量多品種のオーダーにも応えることができるようになった。「工場から工房へ」というスローガンを掲げていますが、それを達成できる日も近いのではないかと思います。



受け継いで次代に渡すということも共生社会の実現には繋がると思います。

藤田 ここで以前から長く働いている人たちの中には高齢になって重い物を持ち上げたりするのが苦手な人もいます。そういう時に特に何も言わなくても利用者さんたちが自然と手助けするという場面が生まれています。

編集 難しく考えがちな「共生社会」が既にこの工場の中では実践されている気がします。

川俣 個人的な意見ですが、これまでの障がいのある人たちは「支援される」ことが多かったと思います。産業、伝統、伝承の担い手になることで社会を「支援する」側になれるはずだと思いますし、そうやって欲しいと願っています。



三樹屋總本店 工場
群馬県館林市堀工街1990-5
TEL / 0276-72-3331

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

障がい者支援をする人たちの「声」を聞く

つむぐ



小林 誠さん
特定非営利活動法人あかり
地域交流事業責任者
こばやし まこと

いつも真面目で一生懸命な人 教えることが楽しいという人

小林さんは以前からサッカーを教えていて、現在の障がい者向けのサッカーでの経歴も含めると20年近くになるベテランです。

サッカー教室だけでなく、利用者からの声も受けて、現在は「サッカークラブ」も運営しているのだそうです。同クラブは日本サッカー協会にも所属しており、障がいのある人たちのチームとして国内で珍しい存在なのだとか。

小林さんには元より「サッカーは支援に大いに活かせる」という確信があったそうで、福祉の世界に入ったのも自発的だったとのこと。

そんな彼のコーチングの特色は、「人に優しくしよう」などのテーマを決めて、そのプレーに徹するように指導するのだそうです。

その理由を聞いてみました。「スポーツの中では皆がルールを守るから」と小林さんは言いました。私が面白いと思った点はここでした。

確かに、スポーツはルールを守ることと成立します。そのルールの中に社会で生きるための大切なことを盛り込むという手法はとても理に適っているなと思いました。

この指導を受けて成長した教えた子たちが、社会に受け入れられるようになっていく姿を何度も見えてきたと誇らしげに語る小林さん。

サッカーはチームスポーツなので、そこで仲間や友だちを作ることができるともいいます。それによっても将来、社会に出てから辛い経験をした時などにも、いつでも戻ってこられる「居場所」にも成り得るのだとか。確かにその通りだと思いました。

障がいのある人たちの中には、他の人たちと協調することが苦手な人もいますので、それらの特徴を持つ人にはチームスポーツは不向きであるとされていたそうです。結果、スポーツ自体に触れる機会が少なかったといっています。

私を例にとれば、サッカーとは呼べないにしろボールを蹴り合って友だちと遊ぶなどの経験があります。遊びを通じて、仲間や友だちを増やしてきたような気もします。

同じ遊びを通して共通の「居場所」を作ってきたようにも思います。

遊びにもルールがあり、それを守るといいうことを学んだはずですが、仲間同士、友だち同士とはいえ、いろいろなルールを遵守しなければ人間関係の構築は難しくなります。

仲間が増えれば、時には言い争いや小競り合いなどが起こることもあります。悔しい思いをしたこともある反面、楽しい思いをした経験も多くありました。

これら全部の経験が、成長してから社会のルールや規範を守ることの基礎にもなっているのではないかと思います。

遊びとスポーツとは方向が違いますが、スポーツに言及すると、チームスポーツは様々な経験を育むものなかもしれません。チームスポーツが障がいのある人たちを支援する福祉の活動に向いているというより、福祉に取り入れれない方がむしろ不自然であると思えます。

小林さんは福祉におけるスポーツの持つ可能性を私よりずっと以前から、もっと深いところで感じていたのでしょう。

「現在の活動をやっていてどうですか？」と私は何気なく質問しました。それに対して「楽しいです」と即答し、身振り手振りを交えながら最近の教え子たちの活躍ぶりについてを屈託のない笑顔で語ってくれました。

この笑顔こそが魅力であり、その魅力に皆が慕ってくる理由があるのだらうと確信しました。小林さんが教え子についてを話す姿はまるで自身の子どものことを語る「お父さん」のようにも感じました。



体を動かすと清々しい気分になり、頭もすっきりしますよね。

多くの著名な作家たちも、思考をクリアにするために散歩などで身体を動かすのだと聞いたことがあります。「運動は思考の母」と言っても大袈裟ではないかもしれません。

障がいのある人たちに向けた支援の中に、「運動」が取り入れられていることが多く、身体を動かすことで得られる効果や効能に期待して大いに運動が活用されているようです。

特定非営利活動法人あかりにも、サッカーを指導するスクールがあります。同スクールのコーチ・小林誠さんに障がいのある人たちにサッカーを教える理由を聞いてみました。



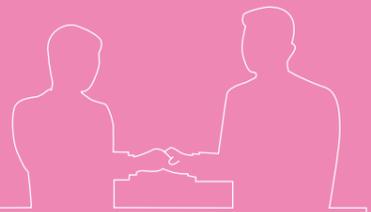
取材・文
渡邊 希望
俳優・脚本家・演出家

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年に「劇団ショートホープ」を立ち上げる。俳優・脚本家だけでなく、演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、多岐に渡って才能を発揮する。ハイペースで脚本&演出をこなす、その舞台はいずれも好評と人気を博している。

渡邊希望Twitter / https://twitter.com/nozomi_w0330



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



シリーズ 弁護士が教える「障がい者と法律」

障がい者と家族の法律問題

相続法改正の要点⑧
配偶者短期居住権

遺産の自宅に住み続ける方法 配偶者短期居住権とは

前回は、今回の相続法改正により新たに設けられた配偶者居住権についてお話ししました。

配偶者居住権とは、ざっくり言うと、配偶者が被相続人の生前から同居していた場合には、被相続人が亡くなった後も引き続きその家に住むことができる権利です。

あくまで住むことに特化した権利なので、自分の所有物として自宅を処分することなどはできません。そのため、所有権よりも低額に評価されるため、遺産分割で配偶者居住権を取得した場合は、さらに預貯金等の他の財産も取得できる余地が出てきます。



持ち主に賃料相当額を支払う必要が出てくるのです。そこで、相続法改正では、配偶者が自宅の所有権または配偶者居住権を取得しない場合でも、短期間に限り引き続き無償で自宅に住むことができる権利を設けました。すなわち、相続開始後の短期間に限り、配偶者に従前どおりの住環境での生活を保障することとしたのです。それが配偶者短期居住権という権利です。

同時にできた配偶者居住権と名前も内容も似ているためとても分かりにくいですが、重要な権利ですので、後半で詳しく説明したいと思います。



配偶者短期居住権の新設 どのような場合に発生するか

配偶者短期居住権は、前述のとおり、相続開始後の短期間に限り、配偶者に従前どおりの住環境での生活を保障するための権利です。

配偶者短期居住権が発生するためには、「被相続人の財産に属した建物に相続開始の時に無償で居住していたことが必要です。以下では、この配偶者短期居住権が発生するための条件について、詳しくお話したいと思います。

配偶者短期居住権が発生するのは、その名とおり被相続人の配偶者です。ここでいう「配偶者」とは、法律上被相続人と結婚していた配偶者に限られるため、残念ながら内縁の配偶者などはこれに含まれません。これについては裁判例や更なる法改正を待つしかないようです。

「被相続人の財産に属した建物」と言えるためには、被相続人がその建物の所有権を有していたか、他の誰かと共有していたことが必要です。共有していた場合でも、その共有持分を相続等により承継した人に対しては、配偶者は配偶者短期居住権により無償で住むことができます。

また、「相続開始の時に無償で居住していた」とも重要なポイントです。被相続人にお金を支払って居住していた場合は、被相続人と配偶者と

配偶者居住権は、遺産分割によるか、被相続人から遺贈を受けることにより発生します。

それでは、これらのいずれでもない場合は、配偶者はそれまで住んでいた被相続人の自宅を出ていかななくてはならないのでしょうか。

配偶者が被相続人の自宅に居住していた場合に、被相続人が亡くなったことで住み慣れた自宅を直ちに出ていかなければならないとします。そうした場合には、特に配偶者が高齢である場合には負担が極めて大きいものと考えられます。

しかし、配偶者が自宅の所有権または配偶者居住権を取得しない場合は、法的には配偶者がその自宅に住み続けられる根拠がなくなってしまう。その場合は自宅を出ていくか、自宅の

の間に賃貸借などの契約関係があったといえます。その場合は、被相続人の貸主としての地位が相続人に相続され、その相続人と配偶者との間で、それまでの賃貸借などの契約関係が継続します。そのため、相続をきっかけに配偶者短期居住権を認めて無償で住むことができるようにする必要が小さいといえます。

そして、「居住していた」とは、生活の本拠として現に居住の用に供していたことを意味するとされています。例えば、配偶者が相続開始の時点では入院して病気で生活していたとします。それでもそれまで居住していた被相続人の自宅に配偶者の家財道具が残っており、退院後はその自宅に帰ることを予定していた場合などは、なお「居住していた」と認められる可能性があります。一時的な理由で他の場所で生活していても、配偶者短期居住権が発生する可能性があるということになります。

最後に、「短期」という名前の権利ですが、ざっくり言うと、これは遺産分割によりその建物の帰属が確定した日か、相続開始から6か月を経過する日のいずれか遅い方の日まで存続します。



法律相談を募集しています

読者の皆さんの「弁護士に相談したいこと」「障がいの当事者または家族であるが弁護士に聞いてみたい」ことなどを法律相談を募集しています。詳細は28ページにある「法律相談募集要項」を参照してください。

なお、相談の内容は、個人が特定できない形で回答とともに記事として掲載させていただく場合があります。また、全ての相談に対して回答できるものではないことを、予めご了承ください。

※本募集は一般財団法人メルディアが行うものであり、表参道パートナーズ法律事務所とは直接の関係はありません。



少し難しかったかもしれませんが、配偶者短期居住権は相続が発生した直後の生活を保障する重要な権利ですので、その存在だけでも覚えておいてください。配偶者居住権と同じく新しい制度で未知の世界です。気になることがあれば、お近くの弁護士に相談してみてください。

履 歴 書

令和2年2月29日現在

ふりがな 氏名	かわまた けいいち 川俣 恵一	ローマ字表記 Keiichi Kawamata
生年	昭和25 (1950) 年 1月 26日生	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女



出身地	栃木県足利市	趣味	アコースティックギター演奏、(作詞・作曲)
-----	--------	----	-----------------------

役職・公職など ※役職などは取材時のものです	座右の銘
・社会福祉法人愛光園 理事長 ・足利市自立支援協議会会長 ・足利市社会福祉施設代表者協議会会長	不易流行 変わる事のない不変の真理の中に、変わるもの、あるいは変わらなければならぬものを取り入れること

年	月	職 歴
昭和47 (1972)	3	日本大学 商学部経営学科卒業
	4	大手百貨店に入社/文具玩具売場に配属 (~昭和48年8月)
昭和50 (1975)	2	社会福祉法人の設立準備会の発足
昭和52 (1977)	4	身体障害者授産施設「足利愛光園」を開所
平成4 (1992)	6	身体障害者福祉工場「足利愛光園福岡工場」を開設
平成10 (1998)	9	身体障害者デイサービス「愛光園デイサービスセンター」を開所
平成15 (2003)	4	障害者ホームヘルプ事業を開始 足利市総合福祉センター内に足利障害者相談支援センターを開設
平成22 (2010)	5	グループホーム・ケアホーム「ホームほのか」を開所
平成23 (2011)	9	「共働舎」「一歩」を開所/「愛光園」に就労移行支援事業を新設
令和元 (2019)	7	就労継続支援B型事業所「三樹屋總本店」を開所

※編注/一部を割愛させて頂きました



人に愛を社会に光をもたらす
支援の先に見据えるものとは

森 障がいのある人たちの最初の関りについて教えてください。

川俣 私が大学生だった頃は、大学闘争(※)の真っただ中で、授業が行われない日が多かったですね。それで、実家に帰って来てクリーニング工場を手伝っていました。工場には30人くらいの従業員がいて、そのうちの10人くらいが障がいのある人たちでした。

森 なぜ、障がいのある人たちが働いていたんですか？

川俣 クリーニングの取引先のひとつでもある病院などからの依頼で、社会復帰するまでの職業

※大学闘争/1960年代に全国の大学で起こった闘争。全国の8割に及ぶ大学で起きた学生が校舎を封鎖占拠して大学側との団体交渉を求めた紛争。

PERSONAL HISTORY

ひと 個人の「歴史」から探る障がい福祉

ひと

パーソナルヒストリー

第11回

社会福祉法人愛光園
理事長/管理者

川俣 恵一さん

PERSONAL HISTORY

「(障がいのある人たちが)その社会の生活と発展に全面的に参加し、他の市民と同様の生活条件を享受し、生活条件向上の成果を等しく受ける権利を持つ」という「完全参加と平等」の基調指針が1976年に国連で宣言されました。

この宣言を受けて国連加盟国で1981年に実施されたのが「国際障害者年」です。以降、日本国内でも政府主導で行動指針が決められ、障がいのある人たちの権利を擁護するための制度や法の整備が行われました。

それに伴って福祉事業所の役割も「援護から支援へと変わった」と語るのが今回の主人公・川俣恵一さん。川俣さんの履歴を紐解きながら支援の変遷についてを探ってきたいと思います。



募集&告知

●●● 各種募集と告知 ●●●

布施博または大矢真那が取材に伺う「訪問先」を募集しています。
また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

法律相談を募集 弁護士が相談を承ります

Recruitment

読者の皆さんや障がいの当事者またはご家族の人たちが弁護士に相談したい事、聞いてみたいことなどがありましたら当誌の事務局まで住所、氏名、連絡先、相談概要などをお送りください。本件の法律相談は無料で行います。

【必ずお読みください】

- ※応募に際しての記載事項などは個人情報保護の観点に則り、本件以外には一切使用いたしません。
- ※本誌に掲載させて頂く場合、個人を特定できない匿名の相談内容として記事にいたします。
- ※相談の受任可否についてはお答えすることができません。
- ※全ての相談に対して回答するものではありません。

氏名、連絡先、相談概要などを以下に記載の住所またはメールアドレスまでお送りください。

■応募先/郵送の場合

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/法律相談係 宛て

■応募先/Eメール

MAIL:org@gf-meldia.com
※件名(Subject:)に必ず「法律相談」とご記入ください

月刊MELDIA常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所のご提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

月刊MELDIA定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。お近くに設置拠点がなく入手が困難な場合や、定期購読をご希望の場合に送料無料で発送しています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。

※定期購読の場合、発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼して全国に発送しています。

一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となれることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援（取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付）など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て
TEL:03-5381-3213 / MAIL:org@gf-meldia.com



一般財団法人
メルディア
Media Foundation

ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん！ Facebook ページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



PERSONAL HISTORY

社会福祉法人愛光園/川俣恵一さん

PERSONAL HISTORY



訓練として作業をしてもらっていました。森 それが「障がい」や「障がいのある人たち」との出会いになるわけですか？川俣 いま思うと多分、意識したのはその頃ですね。森 大学の卒業後は家業を継ぐのではなく最初は百貨店に就職したとお聞きしています。その頃に体験が福祉事業と障がい者支援を行う動機のひとつにもなっているのですが。川俣 百貨店の文具と玩具の売り場に販売員として配属されて2年目の頃でした。売り場に障がいのある人たちのグループが買い物に来たことがありました。その時に他の販売員が尻込みしていたので私が接客を担当することになりました。森 障がいのある人たちへの理解が今ほど進んでいなかった頃ですから接客に対し前向きでなかった人もいたんでしょう。川俣 1時間くらい接客をして、その後に食堂へと案内しました。終業後に上司に呼ばれ「いくらも買わないお客に長時間の接客はしなくてもいい」と叱責されました。森 今では考えられない叱り方ですね。川俣 この話しにはまだ続きがあって、障がいのある人たちが食堂に忘れ物をしたというところで、それをなりゆきで翌日に施設まで届けに行くことになりました。その施設の中で重度の障がいのある人たちが不自由な体を懸命に動かしながら黙々と作業をしている姿を見ました。彼らが真剣



に作業をする姿を見て感動したというか、素直に「凄いな」と感嘆させられました。森 普通なら「障がいがあるのに」という主観が足された感想になると思いますが、「感嘆させられた」という言葉には、現在運営している多くの障がい者支援事業に繋がるヒントが隠されているような気がします。川俣 しっかりとした作業設備きちんと練られた作業計画、障がいの特性に合わせた適切な指導があつてこそ、重度の障がいのある人たちでも作業ができていたんだなと感じました。森 それが原体験となって、現在の愛光園が運営している福祉事業所の中にも活かされているんだらうと感じます。川俣 そうなんですかね？ そんなに尊大な気が



社会福祉法人 愛光園
栃木県足利市稲岡町500
TEL / 0284-91-3781
<http://aikouen.org/>



持ちで運営しているわけではないんですけどねえ(笑)」「どうしたら、どうやったら、障がいのある人たちに総合的な支援ができるんだらうか?」「一緒に何ができることはないだろうか?」って考えているうちに40年以上も経ってしまつたという感じですよ。森 これからはどう支援していこうと考えますか？川俣 支援の先に見えるものとして、障がいのある人たちが社会や産業構造を支え、伝統の継承を担う存在になれるよう、道筋となる就労の機会をもっと創出したいと思っています。



取材・文/森清香

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

湘南ベルマーレ

ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©1993 SHONAN.BM

新型コロナウイルスの影響により「2020JリーグYBCルヴァンカップ グループステージ第2節」の全ての試合と3月開催予定の「2020明治安田生命Jリーグ」の全ての公式戦の開催延期が発表されました。開催時期(延期・中止を含む)や試合内容に変更が発生する場合がございます。詳細は右記のURLにて随時お知らせいたします。 <https://meldia.org/present/>



療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、介添者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待いたします!

■ホームゲーム一覧

開催日	キックオフ	対戦相手	申込め切
4/22 (水)	19:00	ガンバ大阪	4 / 8(水)
4/29 (水祝)	19:00	横浜FC	4/15(水)
5/10 (日)	15:00	川崎フロンターレ	4/26(日)

■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ必要事項をご入力



応募フォームはこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます

財団 メルディア 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話くださいませようよろしくお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へチケットをお送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いた住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO!

チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞ観戦をお楽しみください!



ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください



JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先■

一般財団法人メルディア 事務局 担当:鷺坂(さぎさか)/後藤
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日~金曜日 9:30~18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

29 MELDIA CONTENTS 2020 MAY.

01| 障がい者を応援

特定非営利活動法人あかり/埼玉県久喜市

06| 一般財団法人メルディアとは?

メルディアの基本理念、財団概要、支援事業

07| 布施博が訊く

白衣のシッター/東京都新宿区

11| 福祉事業所探訪

社会福祉法人愛光園/栃木県足利市

15| 水越けいこ連載「M size / はじまり」

水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る

17| 福祉事業所探訪

三樹屋總本店/群馬県館林市

21| つむぐ

障がい者を支援をする人たち

23| 弁護士が教える「障がい者と法律」

表参道パートナーズ法律事務所/弁護士・安部晃平

25| ひと - PERSONAL HISTORY -

社会福祉法人愛光園/川俣恵一さん

28| 募集と告知

各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

月刊 MELDIA Vol.29 / 2020年3月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア

発行人 / 小池信三

事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章

編集 / 株式会社サン・オフィス

編集人 / 東宮恵美

編集長 / 山口慎市

進行 / 谷田貝亘介

編集部 / 株式会社サン・オフィス

ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、渡邊希望、森清香、大橋はるか

カメラマン / 吉岡晋(PMJ)

ヘアメイク / 株式会社Dharma

デザイン / 有限会社フレッシュャー・アド

印刷製本 / QREAS株式会社

協力 / MELDIA GROUP 株式会社三栄建築設計、特定非営利活動法人あかり、児童発達支援センターこころ園、fc akari サッカースクール、埼玉県発達障害総合支援センター、株式会社白衣のシッター、社会福祉法人愛光園、三樹屋總本店、表参道パートナーズ法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、株式会社PHOTO MIO JAPAN、株式会社Dharma

※敬称略/順不同

次号予告

MELDIA VOL.30

2020年4月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632

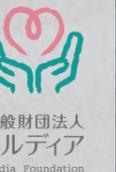
東京都新宿区西新宿 1-25-1

新宿センタービル 32F

一般財団法人メルディア 事務局

TEL: 03-5381-3213

MAIL: org@gf-meldia.com



本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2020©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア/月刊 MELDIA MELDIA GROUP 株式会社三栄建築設計/株式会社サン・オフィス